

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 大 学 名 | 筑波大学                               |
| タ イ プ | B - I I                            |
| 構 想 名 | 人社系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム |

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

|   |  |
|---|--|
| (総括評価)<br><br><b style="font-size: 2em;">B</b>  | 当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。 |
| (コメント) <p style="margin-top: 20px;">                     本プログラムは、人文系（哲学・歴史・文学・言語学・文化人類学等）と社会科学系（政治学・社会学・経済学・法学等）の異分野融合的な研究方法を広く身に付け、かつ国際的な視野と行動力を備えた「東アジア・欧州における発信力を持ったグローバルリーダー養成」を目的としており、学士・修士・博士の3課程で人社系グローバル人材を養成しようとする意欲的な取組が行われている。                 </p> <p style="margin-top: 20px;">                     学士・修士・博士の3課程の各レベルに応じて、「日本語・日本文化コミュニケータ養成プログラム（学士課程プログラム）」・「日独韓3大学共同学位プログラム（修士課程プログラム）」・「現代日本国際比較履修証明研究プログラム（博士課程プログラム）」を実施しているが、3つのプログラムが統一したプログラムとして機能していないように見受けられる。                 </p> <p style="margin-top: 20px;">                     これら3課程の個別的な取組を十分に有機的・統合的に運用するためには、本プログラム全体を一括管理する運営・教育体制として平成23年11月に結成されたTRANS運営委員会において、3つのプログラムをつなぐ確固たる中心的な理念を再度確認・共有し、当該理念に基づいて個別プログラムの詳細や達成目標を更に明確化していくことが求められる。                 </p> <p style="margin-top: 20px;">                     「欧州・東アジア・ロシア」という視野や複数言語主義という概念を掲げた本プログラムが、筑波大学全体の中でどのように位置付けられるかについても、関係者の間で十分に議論していくことが望まれる。                 </p> <p style="margin-top: 20px;">                     また、外国語力スタンダードは本プログラムの重要な柱の一つであるため、今後、達成すべき水準の数値目標に照らして、達成状況を明確に示すことが求められる。                 </p> |  |